

DIFAR 通信

発行 NPO 法人 DIFAR 事務局 発行日 2014 年 12 月 5 日 VOL. 19



空き瓶で リサイクルセンターのエコイレづくり

合計 5 校 約 50 人の学生が、空き瓶の回収、建設に参加してくれました。

11 月 13 日に参加してくれた学生たちと竣工式を行いました。（5 頁参照）

今号のもくじ

- 1 エコイレづくり
- 2 研修/インターンを 終えて
- 3 環境隊員大集合/バジェ再訪

- 4&5 里子のボリビアだより/スタッフの一言
- 6 フォトコンテスト 京都からの報告
- 7 森の音楽祭/日本に暮らすボリビア人③
- 8 カレンダーできました/ 寄付・入会案内



DIFAR とは、ボリビアで使われているスペイン語 Desarrollo Integrar de la Familia Rural 「農村生活の総合的な発展」の頭文字です。ディファルと読みます。



バジェグランデ市を訪問して

青年海外協力隊/H26年度1次隊 飯渕一樹



青年海外協力隊・環境教育隊員としてコマラパ市に赴任中です。去る10月27日より4日間、バジェグランデで、DIFARの活動について実地で学ばせて頂きました。現地スタッフの面々と共に資源回収や生ごみバケツの配布を行うなど、充実した研修を体験することができました。（左の写真は研修中のバジェでの生ごみ回収の様子）任地赴任からまだ3ヶ月で語学力の

拙い私に対し、気さくに何でも説明してくれたスタッフの皆さんに感謝いたします。

コマラパ市からこうして研修に訪れたのは、市民のごみ分別の精度が低下しつつあることを瀧本さんから指摘され、バジェでの研修を打診されたためです。私としても事業の成り立ちを一から知りたいと考えていたことから喜んで伺いました。

廃棄物の分野は環境系隊員としての仕事にも直結します。回収に際してのこまめなケアなど、今回見聞きした事柄を元に今後の活動を組み立てていきたいと思います。

★DIFAR インターンを終えて 岩谷良恵

6月から4ヶ月弱の間、NGO運営について学ぶため、バジェグランデの現場にて活動させていただきました。毎日のごみ回収と堆肥づくり、市役所・学校・市民から依頼される講習会など、常に人手が足りないほどの仕事がありました。苦勞しながら働くスタッフの姿にまず頭が下がりましたが、どの活動を優先すべきか、また、今いるスタッフでできる活動の整理をすることが大事だと思いました。

それ以外に私は、第1回目の京都・バジェグランデの高校生写真コンテストの担当をしました。DIFARと市役所連携の初事業とのこと、里子さんや教子さん（京都）、市長をはじめ職員やスタッフとの細かなやりとりを経て実現しました。展示前にインターン期間が終わってしまいましたが、後日スタッフから「すばらしい写真展示会になっているよ！」と連絡がありうれしかったです。

現在、ラパス県の過疎地域で地域活性化に向けた「全面的職業教育センター」の建設・運営のプロジェクトに携わっていますが、インターンで得たすべての経験を、上記のセンター運営、今後の団体設立などに生かしていきたいと思います。



ラパスの手工芸グループで 右が著者

バジェグランデにボリビアの JICA 環境隊員大集合

11月13日にバジェグランデにボリビア各地の環境関係で活動している協力隊員とそのカウンターパート16名が集結しました。

まずは朝7時からの回収を見学、分別バケツの導入が始まっている市場（左下写真参照）や学校にも見学、リサイクルセンターでリサイクルトイレの竣工式にも参加してもらいました。隊員やカウンターパートのアンケートには、「市場での分別回収の取り組みに感動した」「ごみ回収時に、テーマのある音楽を流しているのは、アピールにもなって良い」等々、任地で参考にしたい事項が書かれていました。市域を超えたリサイクル連携への期待や堆肥量の増化に向けての対策など積極的な提言もあり、セミナーの効果が期待されます。夜は市長さん宅で、ボリビア定番のチュラスコ（焼肉）で懇親会で楽



しいひと時を過ごしました。

今後、また情報共有をしながら活動を進めていけたらいいなと思いました。（里子さんの近況報告と隊員のアンケートから編集）

～ボリビア再訪記～

水口 亜紀

青年海外協力隊であった私は、2014年の夏に2年ぶりにボリビアへ「里帰り」してきました。アメリカを経由しての長旅の末には、日本からのお土産（超重要品！ごはんにかける「ゆかり」）に興味津々の税関との「熾烈な」戦いがありました。2年間で様変わりしていたサンタクルス（信号が設置、新しいショッピングモール…）、変わらないサンタクルス（砂嵐に、交通渋滞のツラサ）を感じたり。1時間待ちぼうけをくらった「この道は通さないぞ！のストライキ」これぞ、ボリビア…でしたが、市民の「エネルギー」が充実しているのが好きだったなー、とも思い返していました。

そしてバジェグランデへ。訪問日は事務所にメンバーが集まる会議の日。スタッフみんな和気あいあい、けれども決めることはしっかりと、な話し合いの様子（リサイクルショップ RunRun のアイディアをブレスト中）や、建設が着々と進んでいる様子（写真参照）、堆肥作りや市場の回収システムなど、実際に「見る」ことによって、より身近に、そしてより、「応援したい」と思うようになりました。

この日訪問したのは私も含めて5名。新たな出会いと共に、DIFARの活動の足跡を確実に知ることができました。皆さんもぜひ、ボリビアへ旅立ちませんか？スタディ・ツアーやりたいな！



里子のポリビアだより

★リサイクルセンター引渡しを済ませました！



プロジェクト開始の昨年7月から、呪われているのか、と感じるぐらい問題が次々に起こり、先が見えない状況の連続でした。

一つの事を分担してやるのは、お互い負担が少なく済む・・・、と思うのは関係者が同じリズムで仕事をしようとする時には良いですが、足並みがそろわないと本当に大変です。

何度、市長室に直談判に行ったことか！

「本当に、里子はしつこい！」と嫌がられる役割を思い切り果たした気がします。

それでも、主な建設はやっと終わり、本引き渡しを済ませました。しかし、排水配管の埋め戻しが終わっていない状態です。竣工式は来年に持ち越しです！！

★草の根文化無償資金協力承認されました

生ごみリサイクルの根幹を担う戸別回収！これは、いつ壊れるか分からないあの1台のオンボロトラックの肩にかかっていた。動かない時は市役所の野犬を移送するための台車を借ります。後ろの台車自体は特に使っていないのでいつでもどうぞ・・・という感じなんです、前のジープは取り合い？です。トラックがいつ動かなくなるか分からないので、前日に調整・・・などできないのが悲しい所です。



しかし、この状況は画期的に改善されることになりました。

DIFAR は、ごみ回収のトラックと機材、資源ごみの集積場を市役所が準備するために、日本外務省の草の根・人間の安全保障無償資金協力を紹介して、ポリビア大使館への申請、調査・審査段階での手続きなどをバックアップしてきました。9月、10月・・・と返事がないまま不安に思っていた矢先に承認の連絡が入りました。市長さんも大喜び。トラックや付属品の買い物は、来年初めになります。今は署名式に向けて準備を進めています。

★リサイクルセンターのエコトイレ ついに完成しました

11月半ばに完成しました。合計5校 50人くらいの学生が、空き瓶の回収、建設に参加してくれました。

泥でペタペタ、コネコネとガラス瓶を積みながら壁を作っていました（表紙写真参照）。ふ〜とつみあがった壁をみんなで見てみるとゆら〜と動いています。とっさにみんな支えに走り、崩壊を防いで…、なんてことが3回あったりして、なんとか完成！



見た目は、他にはない、とっても楽しいトイレになりました（写真左）。竣工式には30人位が来てくれてみんなでゴマジュースで乾杯をしました。

★サバさんの日本での「廃棄物 3R 研修」とボリビア活動報告会

バジェでの中心スタッフ、サバ・ガルビス・フスティアーノ氏（通称サバさん）と通訳としての私は、11月24日中部空港へ到着しました。橋本力男氏の堆肥・育土研修をはじめ、12月13日まで各地での研修と活動報告会の日程が決まっています。

活動報告会は11月30日（日）JICA 中部ゼミナール、12月5日（金）三重県美杉事務局、12月6日（土）ヤマギシ豊里実験地、12月10日（水）ヤマギシ東京案内所で実施します。

:: :: :: :: コラム スタッフの一言「諸隈幹雄（もろくま・みきお）」 :: :: :: ::

私は今回バジェグランデ市堆肥場の建設コンサルタントを務めました。DIFAR とは 2010 年にコマラパ市堆肥場の建設工事を担当させていただいて以来 4 年以上のお付き合いとなります。このバジェグランデプロジェクトは 2011 年より建築基本設計を開始しました。そして今月 11 月 12 日に建設の引渡しが無事完了しました。コンサルタント業務に不慣れなところもあり、DIFAR 関係者の方々にはご迷惑をおかけすることもあったかと思えます。



ボリビアでは「品質」への理解がまだ不足していて建設においても同様です。おそらく DIFAR の活動においてもこの意識の違いに疲れることが多いかと思えます。幸運にも今回の建設入札業者はこの点の理解が深かったので細かく品質をチェックしながら工事を終了することができました。

大切にこの堆肥場を使っていたいただければと願っています。

京都とボリビア・写真で国際交流！

～ボリビアからの写真を同志社中高で展示しました～

井出教子



以前の通信でお知らせした「京都とボリビアをつなぐフォトコンテスト」の続報です。9月にボリビアから 50 枚の作品が送られてきました。

どんな写真を送ってくれたんだろう、と期待しながら、一枚一枚開いていくと…予想していた以上にステキな写真が多くて嬉しい驚き！！

素朴だけれど、バジェグランデへの愛を感じる作品ばかりでした。特に多かったのは水辺の自然を写したもので、これは水が貴重な環境にいる子どもたちだからこそかもしれないと思いながら見ました。

他にもメルカド（市場）や農業の様子、街の中央にある教会や広場の風景など、どれも日本では見ることのできない写真で、中高生はとても興味深げでした。毎日を忙しく過ごしている高校生にとっては、バジェの風景がとてものんびりしたものに映ったようで、「こんな所に行ってゆっくりと時間を過ごしてみたい」、とか、「これまで全く知らなかったボリビアという国を身近に感じる事ができた」という声も聞かれました。

投票総数 218 票のうち 80 票以上を獲得して、見事 1 位に輝いたのが右の写真です。タイトルは「かわいいバジェグランディーナ」。バジェグランデの帽子をかぶった女の子の笑顔に、教室では「かわいいー！！」、「やばい！！」という声が飛び交っていました。他にもパン屋さんの写真に食欲をそそられたり、モロモロ村の風景の美しさにため息をついたり、生徒たちの反応は様々でした。日本から送った写真の投票結果はまだ届いていませんが、現地の文化センターでたくさんの人に見ていただいたと聞いています。どんな写真が選ばれたのか、今から結果が楽しみです。



（注）京都からの写真は、73 票を集めた水辺の風景「涼を求めて」が 1 位に選ばれました。追って双方の上位写真をホームページにアップします。乞うご期待！（事務局）

美杉の森からボリビアを体感



森の音楽祭実行委員 池田三朗

携帯電話も届かない山小屋に百五十名程が集い、食べて唄って踊りまくる。9月28日の「DIFAR 森の音楽祭」は一言で表すと、そんな調子だった。

祭りでは、元ボリビア派遣女性協力隊員と二人で司会を務めた。因みに私も元 JICA 青年海外協力隊員。ボリビア料理を始めとした様々な

屋台が広場を囲う。舞台に居ると、青と緑の静寂な森の中に、次第に沸々と赤みを帯びて立ち上がる熱気を感じた。合間を見て私も一來場者となり、屋台で味わい、輪になって踊った。

私も派遣先の地域の人達とよく踊っていたものだった。貧困と言われる国で実際に生活してみると、豊かさとは何かと考えてしまう。

各々が楽しむ事が、会の活動資金となり、現地での活動の一助になる。家族愛は、地域、自国、他国を経て、究極は世界平和を願う。この豊かな祭りは、国際協力のあるべき一例を示しているのかもしれない。



日本で暮らすボリビア人③

OnishiLoayza Alex Milton (通称アレックス) 39歳 三重県津市在住

森の音楽祭で楽しい演奏して下さったアレックスさんは、奥さんと4人の娘さんの6人家族です。

11年前に来日して、今は車関係の仕事をしています。簡単な日本語であれば話ができますが、日本の小学校に通う娘さんのほうが日本語が堪能です。「生活に大きな問題はない。これからもボリビアの歌をギター片手に奏で、日本での生活を家族と穏やかに過ごしていきたい」と話してられました。(取材 水口亜紀)





2015年のDIFARカレンダー カレンダーを通して、ボリビアのことを伝えられたらと今年で3度目の制作。素晴らしいボリビア人のカメラマンとの出会いがありました。自然や人々への愛に満ちた写真は、見た人の心を癒してくれます。

1部 500円＋送料実費（10部以上は送料無料）ホームページからもご注文いただけます。<http://difar.jp/>

DIFARの物品販売 報告会やイベントの折に、カレンダー、手織りのマット（羊の毛を紡いだボリビアの手工芸品）「小浜島のもずく」や「ウユニの塩」等を販売して活動資金の足しにしています。どれもDIFAR厳選の良質の品です。メールやファックスでの事務局へ直接注文も歓迎！ これからの出展予定は、**12月7日(日)** Hand in Hand（アスト津）、**12月13日(土)** 伊賀オーガニックフェスタ（旧比自岐小学校）、**1月9日(金)・10日(土)** EXPO BOLIVIA 2015 in Mie(アスト津)



EXPO BOLIVIA のポスター

活動支援のお願い

DIFAR は会費と寄付金、助成金、物品販売の利益等で運営しています。ボリビアに日本の声が届くように、ボリビアの活動や文化、人の動きを日本に伝えるために資金が必要です。皆さまのご協力をお願いいたします。

[寄付] 随時受付中です。切手で寄付していただくことも可能です。

[会員]

正会員 5000円／年（会の運営に参加できます。総会で議決権があります）

賛助会員 3000円／年（会の活動を応援して下さる方）

マンスリー会員 1000円／月（希望により、正会員か賛助会員かを選んで頂きます。会費は月々1000円からお納め頂けます）

会員の特典 会報誌「DIFAR 通信」をお届けします。会主催事業の案内をお届けします。会主催の講演会に無料で参加できます。

振込先 郵便振替口座 **00890-0-122793** (トク) ディファル

ゆうちょ銀行 記号 **12230** 番号 **22972881** 特定非営利活動法人 DIFAR

三菱東京UFJ銀行 店番 **450** 普通口座 **0649345** DIFAR

NPO 法人 DIFAR 事務局 〒**515-3421** 三重県津市美杉町八知 **1383**

Tel&Fax**059-212-0154** メール info@difar.jp

URL <http://difar.jp/> facebook <https://www.facebook.com/difarnpo>